

2017

知の玉手箱

学生向け図書案内誌



久留米大学 御井図書館 発行

ビッグデータ、ヘイト、 そして図書館

『知の玉手箱』編集委員長
久留米大学 経済学部

山下 純一



欧州は難民問題とテロに振り回された1年だった。テロ対策の一環として、米国のNSA (国家安全保障局) はメール、電話などの通信内容を毎日17億件も傍受・保管しているといわれ、通話記録は20兆件に及ぶとの推測もある(ビクター・マイヤー＝ショーンベルガー、ケネス・クキエ(2013)『ビッグデータの正体』(斎藤栄一郎訳)講談社。以下の引用は全て同書による)。

いまから20年ほど前、OSのすべては10数枚の3.5インチフロッピーディスクに収まった。それが今では1TBのディスク容量はごく普通になった。しかもそれが自分のパソコンとは物理的に別の場所(クラウド)にある。「アポロ11号の誘導制御コンピュータに使われた書き換え可能メモリーの容量はわずか4キロバイト」にすぎなかったが、「現在のビッグデータの世界も、しばらくすればきっと吹けば飛ぶような容量にみえるはず」と予測される。

データの爆発にともなって、これまで科学的手法の王道であった因果関係の追究をバイパスし、理由は不明でも相関関係がデータで確認されていけばよいというアプローチが台頭してきた。この見方が社会的に浸透すれば、そこから予想外の怪物が生まれるかもしれない。

それは実際の行為ではなく、データに基づく予測で人を判断する社会的な「空気」すなわち偏見が醸成される危険性である。たとえば、最近の英紙(The Times, 2016年12月13日の最新研究の紹介)の報道に、子供の将来を3歳児の段階で識別するという記事があった。45分テスト(IQプラスセルフコントロール)に、その子供の成長段階での情報(愛情不足がなかったかなど)を加味して吟味すれば、将来社会にとって最大の負担(犯罪や社会保障に依存する生活)になるだろうとおもわれるテスト結果を、かなりの正確さで抽出できるというのが主たる報道内容である。

報道はこの知見を、遅くなり過ぎないうちに子供を援助する点で有益、と評していたが、影響はそれだけだろうか? ある少年を要サポート対象と判断してフォローするだけで、周囲は彼を別の見方でみるようになるかもしれない。「予測をきっかけにした介入自体が制裁効果を持つ」かもしれない危険性、それが我々のビッグデータ社会を覆う暗雲の1つである。

御井図書館の将来計画によれば、図書館内に飲食可能なスペースを設ける方向で検討がすすめられている。図書館が世界中に拡散しているデータにアクセスする単なるゲートウェイとして生き延びるとすれば、食べる場所は必要だろうか? 本やデータに出会うというより、それらを介して人に出会う場所への図書館の変化の始まりといえるかもしれない。偶然のめぐり合わせ、データで予測できない人間関係の発展が生まれる場所、つまりデータの過剰な呪縛から逃れた人の居場所が、図書館の中心的な働きとなる時代が来るかもしれない。

CONTENTS

◇『知の玉手箱 2017』発行にあたって

文芸

P03

- 01◆ ボックス! / 百田 尚樹 著
…甲斐田 涼太 (文学部学生)
- 02◆ 忘れられた巨人 / カズオ・イシグロ 著 / 土屋 政雄 訳
…鬼木 翔汰 (文学部学生)
- 03◆ グラスホッパー / 伊坂 幸太郎 著
…塩川 実都 (文学部学生)
- 04◆ パラドックス13 / 東野 圭吾 著
…塩崎 南菜 (文学部学生)
- 05◆ 風が強く吹いている / 三浦 しをん 著
…柴田 恭宏 (文学部学生)
- 06◆ 空中ブランコ / 奥田 英朗 著
…田上 晶 (文学部学生)
- 07◆ 永遠の出口 / 森 絵都 著
…寺本 菜里香 (文学部学生)
- 08◆ ぼくのマステリな日常 / 若竹 七海 著
…中村 颯 (文学部学生)
- 09◆ レインツリーの国 / 有川 浩 著
…西辻 日南子 (文学部学生)
- 10◆ 虹の岬の喫茶店 / 森沢 明夫 著
…原 愛理 (文学部学生)
- 11◆ 終末のフルール / 伊坂 幸太郎 著
…藤本 啓汰 (文学部学生)
- 12◆ 小説 君の名は。 / 新海 誠 著
…香月 太樹 (法学部学生)
- 13◆ 坂の途中の家 / 角田 光代 著
…木下 愛梨 (法学部学生)
- 14◆ 続・時をかける少女 / 石山 透 著
…矢野 愛美 (法学部学生)
- 15◆ 夢をかなえるゾウ / 水野 敬也 著
…野田 結南 (経済学部学生)
- 16◆ 羊と鋼の森 / 宮下 奈都 著
…河内 千栄子 (法学部教員)
- 17◆ 影との戦い—ゲド戦記I /
アーシュラ・K. ル=グウィン 著 / 清水 真砂子 訳
…富吉 満之 (経済学部教員)

評論・エッセイ

P11

- 18◆ 科学者の本棚 / [科学]編集部 編
…辻本 尚弥 (人間健康学部教員)
- 19◆ 医学と仮説 / 津田 敏秀 著
…辻本 尚弥 (人間健康学部教員)
- 20◆ 栄養学を拓いた巨人たち / 杉 晴夫 著
…辻本 尚弥 (人間健康学部教員)
- 21◆ いわずにおれない / まど みちお 著
…辻本 尚弥 (人間健康学部教員)

社会・政治・経済・ビジネス

P13

- 22◆ 9割がバイトでも最高のスタッフに育つ
ディズニーの教え方
/ 福島 文二郎 著
…前川 美澄 (文学部学生)
- 23◆ 民主主義という病い / 小林 よしのり 著
…島村 賢一 (外国語教育研究所教員)
- 24◆ 生きて帰ってきた男: ある日本兵の戦争と戦後 /
小熊 英二 著
…河内 千栄子 (法学部教員)
- 25◆ 蓄積論 (第二版) / 園 信雄 著
…伊豆 久 (経済学部教員)
- 26◆ みんなが知らない超優良企業 / 田宮 寛之 著
…高橋 宏幸 (商学部教員)
- 27◆ 増補改訂 よくわかる日本経済入門 / 塚崎 公義 著
…塚崎 公義 (商学部教員)

その他

P16

- 28◆ ひとり暮らし、はじめました / ブロックバスター 著
…安部 大希 (文学部学生)
- 29◆ すぐ傷ついてしまう自分を強くする方法
/ 檀西 聰 著
…尾崎 友里佳 (文学部学生)
- 30◆ 「弱くても勝てます」開成高校野球部のセオリー
/ 高橋 秀実 著
…川口 進平 (文学部学生)
- 31◆ 本当は怖い食べ物 の賞味期限 / 愛食舎 監修
…彌富 真帆 (文学部学生)
- 32◆ 人種とスポーツ: 黒人は本当に「速く」「強い」のか /
川島 浩平 著
…畠中 昌教 (経済学部教員)

ウェブサイトを活用して図書館の達人になろう P19

OPAC (蔵書検索) を使ってみよう! P21

マイライブラリを活用しよう! P22

甲斐田 涼太(文学部学生)

ボックス！

百田 尚樹 著
太田出版

¥1,780 (税別)

成績はとても優秀だが、運動が少し苦手な木樽優紀(きたるゆうき)は、天才的なボクシングセンスを持つが、少しお調子ものの鎬矢義平(かぶらやよしひら)と出会います。そして、木樽は彼に影響されボクシングを始めました。彼らは、2人でお互いに競い合いながら成長していきます。ボクシング未経験から少しずつ成長していく木樽といつも肝心なところで勝てない鎬矢。そこに怪物と呼ばれる強さを持つ稲村が現れます。果たして、木樽のデビュー戦はどうなるのか？ 鎬矢はライバルである稲村を破り自身が目標とする高校8冠を達成できるのか？

「永遠の0」の著者でも有名な百田尚樹の作品で、ボクシングの事をあまり知らない人でも、ルールが物語の中に書かれているため読みやすい作品になっています。物語を通して、一つのことに熱中していきだんだん強くなっていく姿に自分も頑張ろうとやる気が出る1冊です。ぜひ読んでみてください。

鬼木 翔汰(文学部学生)

忘れられた巨人

カズオ・イシグロ 著
土屋 政雄 訳
早川書房

¥1,900 (税別)

この本の主人公は「巨人」ではない。

物語は「鬼」や「竜」などの化け物が生息し、さらになぜか記憶がなくなり続けてしまう「霧」が発生する世界で、1組の老夫婦があるきっかけで遠く離れた息子を思い出し、会いに行くために長く住んでいた村を発つ。道中である村に立ち寄り、そこで異国の屈強な戦士、「鬼」に噛まれた少年、年老いた騎士と出会い、彼らとともに歩を進めることになる。そこで徐々によみがえる記憶、そしてよみがえった記憶の喪失による矛盾、明かされていく世界の真実。

読み手側としては、まるで霧の中にいるような不快感のある前編、徐々に記憶が戻り、新たな角度で見えてくる後編のわかりやすい構成で、最後にはなぜこの本のタイトルが「忘れられた巨人」なのか、なぜ世界の人々は記憶を失ってしまうのか、などの疑問点が霧が晴れたかのように解けていく。この本の文章からは、一般生活にはない開放感を味わえるだろう。

グラスホッパー

伊坂 幸太郎 著
角川書店

¥590 (税別)

3人の主人公が順にストーリーを繋ぎ最後は1つに収束する。

理由もなく妻を殺され復讐を誓う元教師「鈴木」は、妻の仇を討つため殺した相手が経営する会社に潜入するが、目の前で妻の仇を押し屋に殺される。偶然にもその現場を目撃した鈴木は、犯人だと思われる押し屋を追うことに。巧みにナイフを使う若き殺し屋「蝉」は、都市伝説といわれる殺し屋の押し屋を殺せば名が売れると思い押し屋を探し、不思議な力で首を吊らせる自殺専門の殺し屋「鯨」は、過去に仕事を押し屋に横取りされ、その心残りを清算するために押し屋を探す。彼らはそれぞれの思惑で押し屋と呼ばれる殺し屋を巡り交錯していく。

この物語は鈴木、蝉、鯨の3人の視点が交互に変わりながら進められ、テンポも良く読者を物語に引き込む力がある。特に主人公達の「死」に対する気持ちがこの物語の鍵となり、多くの伏線が張られ、深く考えさせられる作品となっている。

パラドックス13

東野 圭吾 著
毎日新聞社


¥1,700 (税別)

久我誠哉、冬樹兄弟は、強盗殺人犯確保の現場にいた。現場の張り込みをしていると誠哉のもとに1本の通達がかかる。それは、「午後1時から1時20分の間は、無闇に動くな」という上からの命令だった。しかし命令に背いて犯人逮捕を実行した2人は、不運にも銃で撃たれてしまう。

意識が戻った冬樹が目にしたのは、人がいなくなった東京の街だった。無人の車やバイクはぶつかり合い、炎をあげて東京の街を変貌させていく。さらに地震や大雨など想像を絶するような世界が待っていた。この世界には誠哉も生存しており、2人を含めた13人の男女が残されていた。真実を知るため総理大臣官邸に向かった誠哉が目にしたのは「P-13現象」という現象の資料だった。何故あの13人が残されたのか、上司があつた時間に通達をしてきた意味とは。理由を知った誠哉は愕然としてしまう。

災害に見舞われ食料も、住む場所も、生きる気力も失いつつある13人。生き続けることに意味はあるのか、道徳とは何なのか。それぞれが葛藤しながらも生き延びる姿に、支え合いながら生き抜く、人間の生命力を強く感じた。


柴田 恭宏(文学部学生)

風が強く吹いている三浦 しをん 著
新潮文庫


¥890 (税別)

この本は陸上部のない大学に通う10人の同じアパートに住む学生が1年をかけて箱根駅伝を目指すという青春物語です。


「俺たちみんなで頂点を目指そう」と灰二が言ったその一言で箱根駅伝に向けて走り出した寛政大学の10人。時に仲間とぶつかり合い、時に「走る」ということについて考え、仲間との絆も深め合って、無謀だと思われた箱根駅伝に出場します。

走るために生まれてきた男、主人公・蔵原 走(くらはら かける)、その男の登場を心待ちにしていた、清瀬 灰二(きよせ はいじ)。2人は運命的に出会いました。

「速くではなく、強いランナー」を目指した10人が、走ることによってだけたどり着ける、どこかもっと遠く、深く、美しい場所を教えてください。


読み終えたときには、あなたの心に爽やかな風が強く吹きます。

田上 晶(文学部学生)

空中ブランコ奥田 英朗 著
文藝春秋

¥1,238 (税別)

飛べなくなった空中ブランコ乗り、先端恐怖症のヤクザ、義父である教授のカツラをはがしたくなる医師など、本作ではさまざまな症状を持った患者たちが、トンデモ精神科医・伊良部一郎の元を訪れる。治療なのか、それともただ自分が楽しみたいだけなのか。彼のハチャメチャな治療(?)法に患者たちは振り回される一方だった。しかし、その中で彼らは、自分の悩みに対して大切なことに気づいていった。

この本では、患者たちが抱える心の問題が、非常にユーモラスに描かれており、思わず笑ってしまうような内容になっている。それだけでなく、彼らが気づいたことは、私たちの日常においても通じるものがある。もしかしたら、悩みを抱えている人の心を軽くしてくれるかもしれない。日常の中で何かに悩み、疲れた人にぜひ読んでもらいたい。

永遠の出口

森 絵都 著
集英社

¥560 (税別)

この本は、<永遠>という言葉にめっぽう弱いという紀子の小学校から高校までの9年間を描いた物語です。小学校の頃、同じグループだった好恵の誕生日会で起こった出来事から話は始まります。グループ内でのいざこざに悩みながら、友達の為に何が出来るのかを考え、自分のことばかりだった紀子が少し成長できたエピソードです。中学時代では、所属したテニス部や友達に馴染めなかった事や親への反発から、不良仲間の家に入り浸ったり万引きを繰り返す中で、悩んだり些細な事で一喜一憂する紀子の日々が綴られています。高校時代では、初めてのアルバイトや初めての彼氏、初めてのことばかりの中で子供だった紀子もだんだんと大人に近づき、将来のことについて考えていきます。

この本では様々な出来事を通して、主人公である紀子が成長していく様子が細かに、優しく柔らかい文章で語られています。目新しいテーマや特別なエピソードがある訳ではありませんが、誰もが一度は経験したことのある出来事や感情を、1人の少女の9年間を通して感じることが出来ます。突飛な事が書かれていないからこそ誰もが共感でき、10代という短いようで長い大切な時間の中での記憶を思い出させてくれる物語です。

ぼくのミステリな日常

若竹 七海 著
東京創元社

¥800 (税別)

ある日、建設コンサルタント会社に勤める若竹七海は、月に1回発行している社内報の作成を任されることになった。さらにその内容は、社内での出来事や情報だけでなく、短編小説を載せてみるとのことである。もちろん小説など書いた経験のない七海は、大学時代の先輩であり、当時から小説を書いている佐竹に執筆を依頼するも、断られてしまう。しかし、その代わり佐竹の友人であり、ミステリー風の話を書く作家を紹介された。彼は作者名を匿名にすることを条件に、毎月短編小説を書いてくれるという。

これはそんな彼が1年間にわたり書いた全12話のミステリー短編小説集である。作品は匿名作家の日記をもとに書かれており、それぞれが独立しているただの短編集ではない。

最後には七海が12話を読むにつれて抱いた作者への疑問を、本人にぶつけるなど、読み応えのある1冊である。是非、空いた時間に1話ずつでも読んでみてほしい。

西辻 日南子(文学部学生)

レインツリーの国

有川 浩 著
新潮社

¥1,200 (税別)

この本は「忘れられない本」から始まった20代半ばの男女の「恋の話」です。

主人公向坂伸行が中学生の頃に読んだ本のラスト。ほかの人はどう受け止めたのだろうかという小さな疑問からネット検索をしてたどり着いたのは「レインツリーの国」というブログだった。そのブログの管理人は都内在住のひとみという女性。ひとみが書いた「フェアリーゲーム」の感想に心を打たれた伸行は彼女にメールを送った。これをきっかけに、メールでふたりは繋がり、彼女に徐々に惹かれていく。そのうち彼女のことももっと知りたいという思いから「直接会いたい」と言う伸行。しかし彼女には直接会うことを拒む「秘密」があった。

だが伸行の熱心な誘いにひとみは直接会うことを決心する。初デートを終え帰ろうと乗ったエレベーターで事件は起きた。そのことで伸行は彼女の「秘密」である「感音性難聴」を知る。

「障害者の話」ではなくただヒロインが聴覚のハンデを持っているだけ。

ぶつかり合いながら互いを思い合う、不器用で真っすぐなふたりの恋模様を描いた、心温まる1冊になっている。

原 愛理(文学部学生)

虹の岬の喫茶店

森沢 明夫 著
幻冬舎

¥1,500 (税別)

最愛の妻を亡くした夫と幼い娘は、初めて2人きりのゴールデンウィークを迎える。ある日の雨上がり、虹さがしの冒険に出た二人は、ドライブ中に小さな看板を見つける。看板通りに狭い幅のトンネルを抜け、ガードレールとフェンスの切れ目を左折すると、岬に青いペンキで塗られた小さな喫茶店があった。そこで1人でお店を切り盛りしている初老の女性、柏木悦子と出会う。出された一杯のコーヒーと、悦子が選んだ曲に、沈んでいた夫の心が動き始める。

この話をはじめとし、様々な苦しみを抱えた人々が、お店に来店する。彼らは、悦子の人柄に触れ、心に染み込むコーヒーと曲で、徐々に自身の人生と向き合っていく。今の店主である悦子は、なぜ誰も訪れないような岬にお店を開いているのだろうか？

実際にある喫茶店をモデルに書かれている。第1章から第6章で構成され、第4章までは悦子の選んだ曲名が、章の題名になっている。話ごとに人物の視点が変わり、中には共感できる話があるかもしれない。優しい文章に、読む人が和み、心のわだかまりがスッと、とけるような温かい1冊である。

終末のフール

伊坂 幸太郎 著
集英社

¥630 (税別)

地球の寿命はあと8年。そう宣言されてから5年後の世界。大混乱が収まり、平和な日々を取り戻しつつあった仙台の街「ヒルズタウン」を中心とする物語。「死ぬくらいなら死ぬ」そんな奇妙なセリフを残して多くの人が命を絶ってゆく中、残りの3年で何ができるのか、懸命に生きる人々がいた。

あと3年しかないのに？あと3年だからこそ？娘との和解、出産への葛藤、復讐の決行、恋人探し等、新たな決断を下す人々。一方で、

「明日死ぬとしたら、生き方が変わるんですか？」

「あなたの今の生き方は、どれくらい生きるつもりで生きるんですか？」

地球の滅亡を宣言される前、インタビューにこう答えた格闘家は、いまだ練習を重ね続ける。

一見別々に見える8つの短編が細かく繋がりがあっていて、何度も読み返したくなる作品です。自分にはない考え方を見つけることができます。

小説 君の名は。

新海 誠 著
KADOKAWA

¥560 (税別)

山深い田舎町に暮らす女子高校生・三葉と東京で暮らす男子高校生・瀧。面識のないはずの2人が、ある日お互いの夢を見る。その夢は、お互いが入れ替わり相手の生活を体験するというものでした。やがて、2人は夢の中で入れ替わっていることが現実の出来事だと気づくのです。そして、ある日を境に瀧は三葉の夢を見ることができなくなります。その原因を突き止めるために、入れ替わった時の記憶を頼りに、なぜこの2人が入れ替わる夢を見ることになったのかを突き止めることになる…。

この本は、実際に起こることのない夢の中で、2人が入れ替わっていく中で色々な人と交流し、気付き少しずつ大人に成長していく青春をテーマとしたすばらしい本だと思います。

木下 愛梨(法学部学生)

坂の途中の家

角田 光代 著
朝日新聞出版

¥1,600 (税別)

私は、果たして文香を愛しているのだろうか。もちろん愛していると思っている。いなくなったと考えるだけで胸がふさがる思いがする。それでも、文香を自分より大切なものだと思えるだろうか。かわいい、かけがえのない子供と思えるだろうか。

本書は、普通の専業主婦の主人公が幼児虐待事件の補充裁判員に選ばれるというお話です。

この事件は、母親が子供を浴槽に落として死なせたというものです。自分の子供を殺すなんて信じられないと思っていた主人公だけど、裁判が進むにつれ年齢や境遇も似ている被告に自分を重ね合わせてきます。殺人という一線を越えてしまった原因は何なのか、裁判が進むにつれて事件が明らかになってきます。この本を読んで裁判員制度で裁判を行っていく難しさや子育ての大変さを感じられました。話の設定に現実味があり、どの家庭にも起こりそうな内容なので感情移入しやすいです。

矢野 愛美(法学部学生)

続・時をかける少女

石山 透 著
復刊ドットコム

¥1,600 (税別)

この本は、筒井康隆著の『時をかける少女』の唯一の続編となる本です。

物語は、1973年にいる高校生となった芳山和子と700年後の未来から来た、未来人のケン・ソゴルの話です。ある日、和子に「こっちへ来るんだ、芳山くん！」と呼ぶ声が聞こえるようになります。それは、未来からテレパシーを使って呼ぶ声でした。ケンにはタイムトラベラーの能力があり、それを使って2001年に来て、未来の科学者たちを救ってほしいと言います。和子はケンのために時空を越え、再びケンに恋をしてしまいます。和子は未来の科学者たちを救うことができるのか？また記憶をなくしてしまうのか？最後までドキドキが止まりません。

この本は読み始めたら止まらなくなり、最後までスラスラと読める本ですし、『時をかける少女』を読んでなくても読めるので、本を読むのが苦手な人でも、すぐに読める本です。だから『時をかける少女』を知っている人も知らない人もぜひ読んでみてください。

夢をかなえるゾウ

水野 敬也 著
飛鳥新社

¥1,600 (税別)

「夢があるのに叶えられていない日本のサラリーマンに勇気を与えたい!」という思いで書かれ、アニメ・ドラマ化された水野敬也さんのベストセラー「夢をかなえるゾウ」。どこにでもいるなんでも三日坊主のダメダメサラリーマンに神様ガネーシャが現れ、共同生活していく中で、成功するための課題を与えたり秘訣を教えてくれることで主人公が変わっていくというお話です。

サラリーマンとこってここの関西弁で話すガネーシャの掛け合いに笑ってしまい、電車の中で読んだことを後悔してしまうほどの面白く読みやすい小説でした。その中でもガネーシャの言葉の中で、「夢をかなえる」ということは実は小さいことの積み重ねであり、成功者と自分の違いは才能だけでなく努力の差だと気づかされ、読み終わった後これから頑張ろうと前向きになれた「笑えて」「泣けて」「タメになる」とってもおすすめの1冊です!

羊と鋼の森

宮下 奈都 著
文藝春秋

¥1,500 (税別)

本書の奇妙なタイトルから何の話かわかるだろうか。ひょんなことから講堂にあるピアノの調律に魅了された主人公は「弟子にしてください」と頼む。本書は森が豊かな田舎育ちで、ピアノも弾けない青年が調律師として迷い悩みながら、一歩ずつ一人前になっていく話である。彼を一瞬にして魅了させた調律師は、有名なピアニストのコンサートにいつも調律を依頼されるほどの腕前。その他に、耳がよすぎてピアニストをあきらめた皮肉屋の調律師。そして、狭いアパートにあるアップライトピアノ、コンサートホールのピアノ、うるさい依頼主。音楽らしい音楽も聴いてこなかった自分に才能がないと悩む主人公。ピアノの中は羊(フェルト)と弦(鋼)の森である。この森の中で主人公は何を見つけるのでしょうか。「才能ってのはさ、ものすごく好きだっていう気持ち…離れられない執念とか闘志…。皆さんも、在学中にこんな気持ちを持つことができるような何かを見つけてほしい。

富吉 満之(経済学部教員)

影との戦い — ゲド戦記 I

アーシュラ・K. ル=グウィン 著
清水 真砂子 訳
岩波書店

¥1,700 (税別)

ファンタジーの金字塔、ゲド戦記シリーズの第1巻。スタジオジブリが映画化していますが、原作とは全く別物です。

魔法使いの世界アースシーで、後に大賢人となるゲドがまだ若い頃、血気盛んに世界に挑んでいく時代の物語。少年ゲドはローク島の学院に入り、魔法使いになるために修練を積んでいく。才能に溢れ、周囲もその能力を認めるゲドであったが、ある日、嫉妬心や競争心に駆られて、黄泉の国から「死の影」を呼び出してしまふ。その影に追われ、逃げるゲド。

私自身が困難にぶつかり、そこから背を向けたくなるような時、この本は勇気をくれます。「向き直る瞬間」を描いてくれています。ともすると、さらりと流してしまいそうな「その瞬間」のページを読むとき、とても嬉しくなります。高校時代に初めて読んでから20年が経ちますが、読み返す度に発見があります。

ゲドと影は、その後どうなるのか？

入学したばかりの1年生に、特にオススメの1冊です。

辻本 尚弥(人間健康学部教員)

科学者の本棚

『鉄腕アトム』から『ユークリッド原論』まで

「科学」編集部 編
岩波書店

¥2,600 (税別)

本書は、岩波書店発行「科学」に連載の「心に残る一冊」をまとめたもので、63人の科学者やサイエンスライターが寄稿している。「夢」「縁」「敬慕」など7つのテーマで各章はまとめられている。それぞれの文章には、紹介したい本の魅力だけでなく、本との出会いや自らの研究のこと、科学についての私見も書かれている。紹介された本の多くは、専門家でもないかぎり難解で手に取るには躊躇してしまう古典的名著が多い。歴史に残る名著との時宜を得た出会いが、研究者にとっていかに大切がわかる。しかし、紹介された本の中にはSFや漫画・伝記もあり、自身の専門ではない異分野の本を紹介している人もいて、その意外性も楽しめる。私は礪島次郎さん紹介の渡辺格著「人間の終焉」と高藪縁さん紹介の米沢富美子著「猿橋勝子という生き方」を、本書の読後すぐに手に入れました。是非本書を手に取り挑戦できそうな本を探してみてください。

辻本 尚弥(人間健康学部教員)

医学と仮説

:原因と結果の科学を考える

津田 敏秀 著
岩波書店

¥1,300 (税別)

本書は、多くの事例と科学哲学的背景をもとに、疫学の必要性和有用性について書かれた入門書である。ヒュームの懐疑論を紹介し、疫学における因果関係についても書かれている。また現代の医学において、疫学の考え方がいかに理解されていないかを、多くの失敗事例を示し主張している。疫学の重要性を強調するあまり、従来の医学研究の否定と読まれかねない心配はある。私は医学において、臨床経験重視の直感派、実験重視のメカニズム派、そして疫学の適切な相互補完は必要だと考えている。そのため直感派、メカニズム派、疫学が相互補完し機能した事例も多く紹介して欲しかった。疫学は著者の主張のように、医学においてもっと認知されなければならない。集中して読めばすぐに読み終わられます。「医学的根拠とは何か(岩波新書)」と合わせて、是非手に取り読んでみて下さい。医療や健康に関する情報の見方が変わります。

辻本 尚弥(人間健康学部教員)

栄養学を拓いた巨人たち

:「病原菌なき難病」征服のドラマ

杉 晴夫 著
講談社

¥940 (税別)

人が生きていくためには、外界から栄養素を取り込み、体内でそれを燃やしエネルギーを得る必要がある。この現象を「栄養」という。本書では、栄養の科学である「栄養学」の構築されていく過程を、偉大な研究者の業績とともに概説している。取り上げられた研究者は、ラボアジェにはじまり、ベルナルドやクレブス、ミッチェル、高木兼寛、佐伯 矩といった巨人たちで、中でも日本にとっては恩人といっても過言ではないクロフォード・サムスについても言及されている。著者は、日本における骨各筋研究の巨人のひとりである。そのため、生理・生化学的に詳述しているところもあり、専門知識がないと少し読みにくいかもしれない。しかし本書では、先人の研究業績だけでなく、命がけの苦闘や不運な生き様も紹介されている。これらのエピソードを読むだけでも、栄養学史を概観できます。是非手に取り読んでみて下さい。

辻本 尚弥 (人間健康学部教員)

いわずにおれない

まど みちお 著
集英社

¥648 (税別)

本書は、詩人で「含羞の人」、まどみちおさんの詩と絵とことばを集めた作品です。まどさんのやさしいまなざしが、この世にあるすべてのものにそそがれている、それが感じられるとても暖かい本です。私は「ノミ」という詩に惹かれ、この本を手にとりました。ことばのすばらしさに感動して読みすすむうちに、「まどさんのことば」は、注意深く自然観察する科学者のそれであることに思い至りました。研究者としての基本中の基本は、まどさんのことばのなかにあります。まどさんはゆるりゆるりと歩きながら、「すべてのものがそこにあるだけ、そこにいるだけで祝福される」そんなことばをふっと口にする、存在の迫りに圧倒されます。一読後は、ほっこりふわんと和みます。読み返すと、居住まいを正して「誠実に生きているのか」と自問して、恥ずかしくなります。「まどさんのことば」を感じるための一歩として、ぜひ手に取っててください。

前川 美澄 (文学部学生)

9割がバイトでも最高のスタッフ に育つディズニーの教え方

福島 文二郎 著
中経出版

¥1,300 (税別)

東京ディズニーリゾートは日本中の誰もが認める国内No.1のテーマパークで、スタッフの9割がアルバイトである。一度でもディズニーリゾートへ訪れたことのある人にはわかるだろうが、スタッフの対応は他の企業と比べものにならない程丁寧で親切である。たかが、アルバイトであるのにも関わらずすべてのスタッフがどうしてこれ程にも徹底した最高の接客ができるのだろうか。

ディズニーリゾートでは4つの”行動指針“というものがある。安全性(Safety)、礼儀正しさ(Courtesy)、ショー(Show)、効率(Efficiency)の4つである。この4つの”行動指針“と「すべてのゲストはVIPである」というディズニーリゾートの理念のもと今日も最高のおもてなしが訪れるすべてのゲストへと届けられている。本書には一般の企業でもすぐに活用でき、素晴らしい人材を育てるための教育方法も数多く書かれてある。

自分が人の上に立ち動くようになったときどのように行動し、教育したら良いのかを考えさせてくれる1冊であるだろう。

島村 賢一 (外国語教育研究所教員)

民主主義という病い

小林 よしのり 著
幻冬舎

¥1,500 (税別)

若者に対しての影響力の大きい漫画家の近作であり、大学が講ずる知とぶつかりそうなタイトルなので、問題点を露わにしておくために取り上げる。

自由・平等・同胞愛に基づく民主制へ向かうことの妥当性に疑問を投げかけ、民主主義ではなく、「自由や平等を制限して天皇制に基づいて、(私的な個に留まることなく公を備え、国を守る者による)政治を日本国は採っていくのがよいのだ、という主張をマンガで行っている。説得的なところも多いが、著者の意味でのこの「公」は、その究極に、日本が大東亜戦争を開戦したことを肯定する姿勢、を前提にした公共性となっている。この書に共感する前に、大東亜戦争開戦時と同じように妥当性もなかったり勝つ見込みもない開戦を今後日本が再びした時にでも自分が、死を賭して戦争に赴く(赴かせる)用意があるのか、を自問しておくべきである。開戦が決まってしまうたら、個々人の不戦の意思は表明するのが難しくなる。

河内 千栄子 (法学部教員)

生きて帰ってきた男

- ある日本兵の戦争と戦後

小熊 英二 著
岩波書店

¥940 (税別)

本書は、要領が悪く体力が無かった父親が体験した入営までの市井の人々の暮らし、戦争、シベリア抑留、そして戦後の生活についての息子(歴史社会学者)の聞き取りである。父の淡々とした語り、著者は学問的な裏付けをしながら戦争というものをより現実的かつ客観的に教えてくれる。軍隊の序列やしごきの厳しさはよく知られているが、命令に従順であることが最優先され、不意の攻撃などに対応できず無駄な死が多く出たこと、64万ともいわれるシベリアの日本人捕虜は約6万死亡、ドイツ軍捕虜は330万のうち100万死亡、しかし独ソ戦争では1500万以上のソ連の若者が戦死していたことなど戦争による死者の数の力に圧倒される。実はこの父親と私の亡父は同じ年だが一度も戦争のことを語らなかった。ただ1度だけ、無口な父が私の長兄の名前が戦友の名前だと言ったことがある。日本が他国の戦争にかかわる可能性が出てきた今日、この名もなき一兵士の生活史を知ってほしい。

伊豆 久 (経済学部教員)

蓄積論 (第二版)

置塩 信雄 著
筑摩書房

¥2,100 (税別)

今から30年以上も前のことになりますが、経済学部の4年生になっても、私には、労働価値説も収穫逓減仮説もIS-LM分析もリアリティを欠いた空論にしか思えず、経済学の面白さがあまりわかりませんでした。そんな頃にたまたま読んだのが本書ですが、その時の衝撃は今も忘れることができません。著者は、マルクス、ヒックス、ケインズを自分が納得できるまで読み込み、自分の頭でとことん考え、その過程と結果を、無駄を削り落とした鋭利な文章に構築しています。著者の有名な「マルクスの基本定理」は、驚くべきことに、『資本論』ではなくケインズの総供給曲線から導かれています。

本書は、経済システムとしての資本主義の特徴(特に、再生産における設備投資の意味)を分析したのですが、それだけでなく、本を読むとはどういうことか、自分で考えるとはどういうことか、文章を書くとはどういうことかについても、私たちに深い示唆を与えています。

高橋 宏幸 (商学部教員)

みんなが知らない超優良企業

:新しいニッポンの業界地図

田宮 寛之 著
講談社

¥840 (税別)

『中小企業白書<2015年版>』(中小企業庁)によると、国内には386.4万社の企業があるという。その中には、CMなどを通じて、あるいは実際に製品やサービスを購入したり利用した経験があって、名前をよく知っている企業もあるだろう。しかし、そうした企業はごくわずかであり、実際には知らない企業のほうが圧倒的に多い。

本書は、筆者の経験をもとに、これから成長する可能性が高い企業を紹介したものである。本書のユニークな点は2つあり、1つは「水素ビジネス」「日本の当たり前ビジネス」など従来にはない新しい業界分類を設定していることであり、もう1つは大手有名企業ではなく、無名の大企業、高収益企業、高シェア企業、高技術企業を中心に取り上げていることである。

B to B企業にかたよっていたり、地元九州の企業がほとんど取り上げられていないといった点を差し引いても、業界・企業研究の参考になるのではないだろうか。

塚崎 公義 (商学部教員)

増補改訂 よくわかる日本経済入門

塚崎 公義 著
朝日新聞出版
¥820 (税別)

日本経済の事は、様々なニュースなどで知っているつもりでも、全体像を知っている人は少ないものです。それは、日々のニュースが「日本経済の全体像を理解している人のための追加的な情報」だからです。

そこで、拙著の御紹介で恐縮ですが、経済ニュースを理解するために必要な経済の常識を幅広くカバーした本書を早いうちに一読しておく事をお薦めします。経済の事を知らない人が読んでも理解しやすいように、できるだけわかりやすく書いたつもりですので、とにかく一度、手に取ってみてください。

日本経済について基本的なことを理解しておくことは、就職活動に際しても重要です。皆さんの多くは企業に就職することになるのですから、日本経済がどのように動いているのかを知り、経済のニュースを読んで理解しておく必要があるのです。就職するためばかりではなく、就職してからも日本経済の知識は役に立つ事が多いはず。是非一読を。

安部 大希 (文学部学生)

ひとり暮らし、はじめました

ブロックバスター 著
主婦の友社
¥980 (税別)

この本はめんどくさがり屋の妄想家の主人公花子が、1人暮らしのおしゃれライフに夢を見るところからはじまります。初歩の家探しや洗濯・料理などの初めてのことに悪戦苦闘しつつ、大人の常識冠婚葬祭のマナーやお金の管理などを、不動産屋の図面から出てきた精霊 1Kくん から教わり、花子が1人暮らしの一人前になっていく本です。

大学生になり親元から離れ初めての1人暮らしを始める人も多いと思います。僕もその1人で初めてすることはわからないことが多く非常に困りました。

しかしこの本を読んでから炊事方法・貯金のコツなどもわかりました。大学生は友達を家に呼んだりする機会も多くあるので、個人的には「ラクして部屋をきれいに保つ！」がとても参考になりました。コミック&イラスト形式なので「本を読むのが苦手、…」という人も気軽に読めます。1人暮らしのトラブルに悩んでいる人は一度手にとって読んでみてください。

尾崎 友里佳(文学部学生)

すぐ傷ついてしまう 自分を強くする方法

植西 聰 著
廣済堂出版

¥1,300 (税別)

現代社会では他人の何気ない言動ですぐに傷ついたり、他人の目を気にするあまり深く悩み疲れてしまっている人が増えている。著者は「生まれたときから傷つきやすい人はいない。つまり、傷つきやすい人たちとは、いわば傷つくことがくせになってしまっている人たち」と言っている。生まれつきの性質だとしたら変えるのは難しいが、くせなら変えていくことができる。

本書では傷つきやすくなっている人たちに、ポジティブな考え方で自分をうまく受けとめ、周りの人と上手に付き合っていく方法を伝授してくれる。傷つきやすい心を強くしたいと思っている人にはぜひこの本を読んでほしい。

これからの人生つらいことも多いだろうが、中でもうまく生き抜くためにはこの本をお薦めする。読み終わったあと思考が180度変わり、あなたの人生の景色が変わるはずだ。

川口 進平(文学部学生)

「弱くても勝てます」 開成高校野球部のセオリー

高橋 秀実 著
新潮社

¥1,300 (税別)

開成高等学校という毎年200人近くが東京大学に合格する日本一の進学校が甲子園を目指す。開成高等学校は、受験ではよく耳にする学校だが野球ではその名を聞くことはほとんどない。開成高等学校のグラウンドは1つしかなく、他の部活との兼ね合いで、硬式野球が練習できるのは週1回。その週1回の練習も3時間ほどの練習で高校野球では、最も短い。なのに、なぜ開成高等学校が甲子園の予選である、全国高等学校野球選手権大会、東京予選で平成17年にベスト16まで勝ち進んだのか。開成高等学校は、短い練習の中で、守備練習に時間を割くより、打撃練習を多くした方が勝ちにつながるということを考えた。頭のいい進学校は、大会ですぐ敗退し、強くはないというふうにみんなが思う。しかし、私の福岡県でも、昨年の夏、小倉高校、東筑高校がベスト8に入った。弱くても勝てる、その独創的なセオリーを実践したこの野球チームを通して工夫次第で大きな可能性が生まれることを教えてくれた。

本当は怖い食べ物の賞味期限

愛食舎 監修
宝島社

¥990 (税別)

食品をおいしく食べるための基本知識として食品の劣化、消費期限と賞味期限の違い、食品の期限のあるなし、食品のおいしい食べ方や保存方法が載っています。そして保存期間についても記載されています。

保存方法の中から「これは危ない」と書かれているものを紹介します。卵を保存するときに、ドアポケットでの保存とパックから出して保存することです。ドアポケットでは、温度が不安定で振動も加わること。パックから出すと、食中毒の原因となるサルモネラ菌が卵の殻にごく少量ついている時があり危険だそうです。

生鮮食品の保存期間も紹介します。豚肉と鶏肉、切り身魚は冷凍保存で2~3週間。そして、枝豆は下ゆでしてから冷凍すると1か月もちます。砂糖や塩は、品質が落ちにくいので、高温多湿を避けて保存すると無期限で使えます。

開封後はなんでも早く食べなければいけないと思っていましたが、意外と大丈夫なものがあることに驚かされます。ぜひ1度は読んでみて下さい。

人種とスポーツ

黒人は本当に「速く」「強い」のか

川島 浩平 著
中央公論新社

¥840 (税別)

8月に行われたリオデジャネイロ・オリンピックでは、陸上ジャマイカ代表のウサイン・ボルト選手が圧倒的な強さで3連覇を飾った。その他にも陸上やサッカーなどでは黒人選手が活躍しており、このような活躍は「黒人特有の身体能力、バネ」といった理由で説明される。

本書は、評者も持っていたこのような見方を「ステレオタイプ」にすぎないと批判し、歴史的かつ地域的に再検討するものである。本文中では黒人がスポーツで結果を出していることを「人種」によるものとする考え方を否定し、遺伝子的な素質に加えてその素質が開花するような文化や環境があってこそ一流選手が生まれることが示される。

おすすめは、水泳と陸上競技という、黒人選手の位置づけが正反対の種目の歴史の変遷を地図などを使って実証する第Ⅵ章である。また、第Ⅰ~Ⅴ章では往年の有名黒人選手を事例に身体能力に対する評価が歴史的に変化したことが示される。野球やボクシング好きにとっては新たな視点を提供してくれるであろう。

図書館を使いこなすのは大学生のあたりまえ ウェブサイトを活用して

図書 雑誌

図書・雑誌を探すときには
OPAC（蔵書検索）

御井図書館・医学図書館の図書、雑誌の書誌・
所蔵情報を検索できます。

雑誌 論文

雑誌論文を探すときには
CiNii Articles
サイニイ アーティクルズ

日本の学術論文情報を探すことができます。
一部の論文は本文まで読めます。

新聞 記事

新聞記事を読むときには
新聞記事データベース

朝日新聞、読売新聞、西日本新聞、毎日新
聞の新聞記事を検索することができます。

辞書 事典

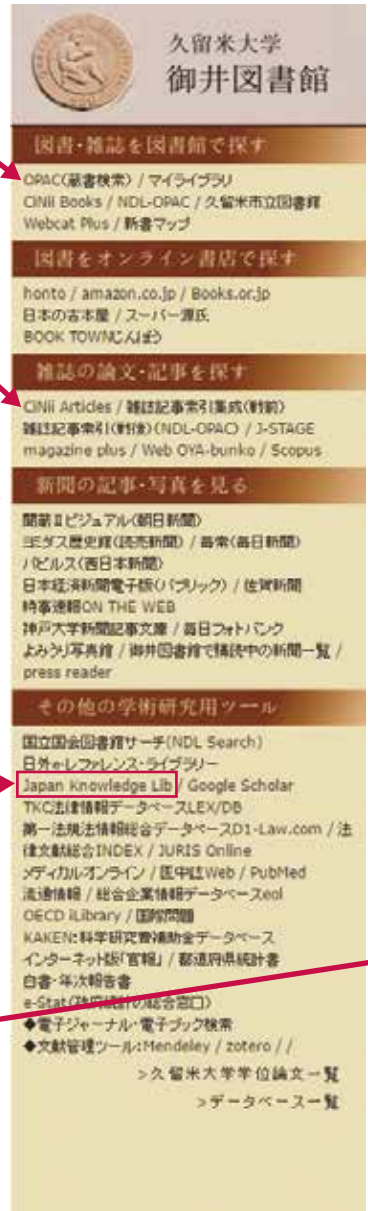
調べ物のときには
Japan Knowledge Lib
ジャパン ナレッジ

日本国内の約50種類以上の百科事典・辞書
を一括して検索できます。

調査 相談

「何を使って調べたいかわからない」
「探している資料はどこにあるかわからない」
そんなときには
レファレンス（調査相談）サービス

1階レファレンスカウンターもしくは
Web（フォーム）で受付しています。
お気軽にご相談ください。



図書館の達人になろう



お知らせ

- ▶ 2017/02/28 地域住民(一般利用)の方へ更新手続きのお知らせ
- ▶ 2017/02/01 2~3月の特集展示「新学期に向けてリフレッシュを」
- ▶ 2017/01/20 利用者用パソコンのメンテナンスについて
- ▶ 2017/01/04 春季休暇期間中の長期貸出について
- ▶ 2016/12/09 文芸部25周年企画展について
- ▶ 2016/04/29 500号館地下書庫の利用期間について

[過去のお知らせ](#)

カレンダー

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 8:45~21:00
- 10:00~18:00
- 9:00~17:00
- 休館日

閉館カレンダー 2017年度

- 図書館 利用案内
- 御井図書館 ニュース
- 知の玉手箱
- ハーウッド 文庫
- 学内専用
- レファレンス(調査相談) お問い合わせはこちら
- 利用者 アンケート
- 久留米大学 学術情報リポトリ
- 久留米大学 デジタルアーカイブ
- 貴重資料 企画展

地域住民(一般利用)の方へ更新手続きのお知らせ

(2017/02/28)

利用証の有効期限は2017年3月31日(金)までとなっています。次年度も利用を希望される方は、更新手続きをお願いします。

- 【受付開始日】 2017年3月1日(水)～
- 【持参するもの】 利用証・身分証(免許証、保険証等)
- 【受付場所】 1階カウンター

文芸

評論・エッセイ

社会・政治
経済・ビジネス

その他

ウェブサイトを活用して
図書館の達人になろう

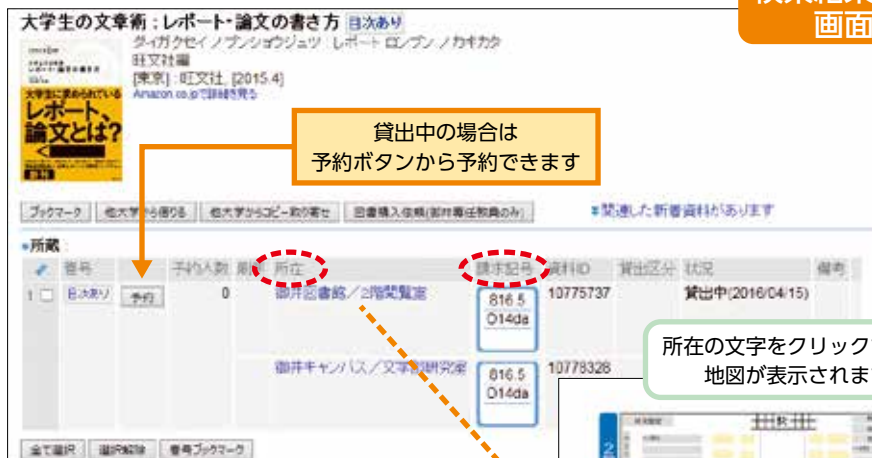
久留米大学の所蔵する資料を探す OPAC（蔵書検索）を使ってみよう！

簡易検索
画面



NACISIS目録にチェックすると
他大学の所蔵を検索できます

検索結果詳細
画面



貸出中の場合は
予約ボタンから予約できます

所在の文字をクリックすると
地図が表示されます

書名、所在、請求記号を
メモをして書架へ行きましょう。
* 状況欄が貸出中の資料は書架にありません。

学生リクエストサービスについて

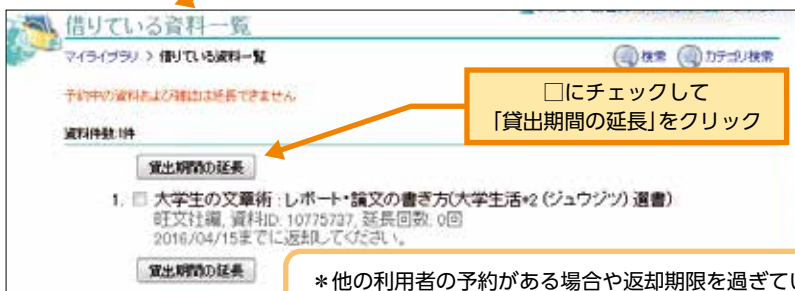
利用したい図書が所蔵されていない場合、また研究室のみ所蔵されている場合などは、学生からの購入希望を受け付けています。貸出・返却カウンターに『図書リクエスト票』がありますので、必要事項を記入し、提出してください。

* 図書が利用可能になりましたら、学内メールで申込者に通知します。

🔍 マイライブラリを活用しよう！

マイライブラリでできること

- 貸出・予約状況照会
- 文献複写等の依頼状況
- 貸出期間の延長
- 貸出履歴の確認



- * 他の利用者の予約がある場合や返却期限を過ぎている場合、貸出期間の延長はできません。
- * 延長処理日から2週間(学部生の場合)の延長となります。

御井図書館の利用について

開館時間

	曜 日	開館時間
授業期間・試験期間	月曜日～金曜日	8:45～21:00
	土曜日・日曜日	10:00～18:00
長期休暇期間	月曜日～金曜日	9:00～17:00
	土曜日・日曜日	10:00～18:00

※長期休暇期間とは、学生の夏季・冬季・春季休暇期間を指します。

※500号館地下書庫は、授業期の平日は18:30、土曜日・日曜日は16:00まで利用可能です。

〈休館日〉 国民の祝日、本学創立記念日、お盆休み(8月15日)、年末年始
※開館時間の変更・臨時休館については、ホームページにてお知らせします。

貸 出

借りたい図書と「学生証」を1階の貸出・返却カウンターへお持ちください。

※延滞資料が1冊でもある場合は、新規の貸出ができません。

	貸出冊数	貸出期間
学部学生	10冊	14日以内
大学院生	20冊	1ヶ月以内

返 却

借った図書は期限内に貸出・返却カウンターへ返却してください。

延滞した場合は、延滞日数によって貸出停止のペナルティが科せられます。

※図書館が閉館しているときは、正面玄関横の「ブックポスト」へ返却してください。

久留米大学 [御井図書館]

知の玉手箱 2017

[発行] 久留米大学 御井図書館

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635 TEL0942-44-4015

©Mii Library of Kurume University 2017 Printed in Japan